

現状と課題

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

【現状】

○先端技術の活用取組は、高齢者の生活支援を中心に、大学や企業、行政が研究・実証事業として牽引しているが、これらの研究成果を生かした新たなサービスの多くが、社会実験の段階。

【課題】

○研究から社会実装に転換するための資金と採算性の確保。

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

【現状】

○地方創生拠点整備交付金等を活用し、市町村の創意工夫による先駆的な取組が加速。
○持続可能で豊かな社会の実現を目指す「ESG」の取組が拡大しており、企業の地方への関心が高まるなど関係構築のチャンス。

【課題】

○新たな取組における成功事例の創出や他市町村への横展開。
○企業の要望と市町村の地域課題をつなぐマッチング機能。

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

【現状】

○中山間地における集落機能の維持に取り組む農村型地域運営組織（農村RMO）や、地域産業への人材派遣を行う特定地域づくり事業協同組合の取組が開始。
○有識者と市町村で構成する「活力ある小集落プロジェクト研究会」から中間支援機能の必要性が提起。

【課題】

○国の制度の活用等に関するノウハウの欠如。
○本プロジェクトを推進する中間支援機能のあり方検討。

今後の展開 取組を加速するスキーム

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

■新たな研究開発を促進するための支援の検討

- 大学や企業の地域における調査研究を支援
- 国の制度や民間資金を活用した社会実装支援
 - 国の交付金や関係団体のファンド、民間のクラウドファンディングの活用支援

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

■成功事例の横展開の支援

- 専門家派遣等による市町村の取組の伴走支援や現地検討会の開催等による取組の横展開の支援。
- 企業と市町村をつなぐマッチング
 - 企業のESGの取組と市町村の地域課題をつなぐマッチング活動を展開。

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

■国の制度を活用した社会実装支援

- 県と専門家や団体等で、農村RMOや特定地域づくり協同組合の制度活用を支援。
- 中間支援機能のあり方検討
 - プロジェクト研究会のテーマとしてあり方を検討。

令和5年度の具体的な取組

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

拡フルオンデマンドバスや遠隔診療・見守り支援システム等の県内市町村への展開を支援（北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円〔政プロ費〕）

新地域課題解決に資するドローンの活用方法を検討し、物流分野と連動させた体制整備を推進（ドローン技術社会実装促進事業費 7百万円〔政プロ費〕）

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

新地域おこし協力隊制度の活用による地域振興と地域への定住・定着を促進（いわて地域おこし協力隊活動推進事業費 17百万円）

・専門家派遣による商品開発・販路拡大等の地域ぐるみの6次産業化取組支援（いわて地域ぐるみ6次産業化支援事業費 3百万円）

・特定地域づくり事業協同組合の導入による多様な働き方の実現（活力ある小集落支援推進事業費 3百万円〔政プロ費〕）

・農村RMOの形成に取り組む地域に、中間支援組織との連携による伴走支援を実施（中山間地農業農村活性化推進対策事業費 39百万円）

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

・プロジェクトの推進及び市町村による小集落支援を促進する「活力ある小集落实現プロジェクト研究会」を開催

（活力ある小集落支援推進事業費 3百万円〔政プロ費〕）

1 先端技術を生かした高齢者の生活支援が進む

- 農作物の**出荷**、**移動販売**及び**ICTを活用した見守り**を組み合わせたサービスを展開（盛岡市）
- 中山間地における**ドローン活用の実証実験**の展開（岩泉町）
- AI配車システムを活用した**フルデマンド型乗合バス**しわまる号運行（紫波町）
- 高齢者でも操作が容易で非常に安価な**遠隔診療・見守りアプリ**を地場で**開発・実装**（八幡平市）



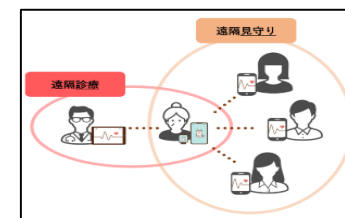
電気自動車を活用した農作物の出荷



ドローン活用実証実験



AI配車システムを活用したフルデマンド型乗合バス



市販機器とアプリを活用した見守りのイメージ

2 多様な主体が活躍できる仕組みづくりが進む

- **廃校舎**を貸事務所と宿泊室に**リノベーション**し**雇用やにぎわいを創出**（洋野町）
- セイコーウオッチ(株)は、白樺をモチーフとした時計の発売を契機に**環境保全活動**を開始（久慈市）
- 若者等の**起業・創業の支援拠点**となる**フューチャーセンターの整備**を開始（岩手町）



にぎわい創造交流施設
ヒロノット



セイコーウオッチ(株)による環境保全活動



フューチャーセンターの構想

3 プロジェクト推進の原動力となる連携体制の構築

- 有識者と市町村の知見を活用する研究会の活動
- (一社)いわて地域おこし協力隊ネットワークの設立（令和4年1月）